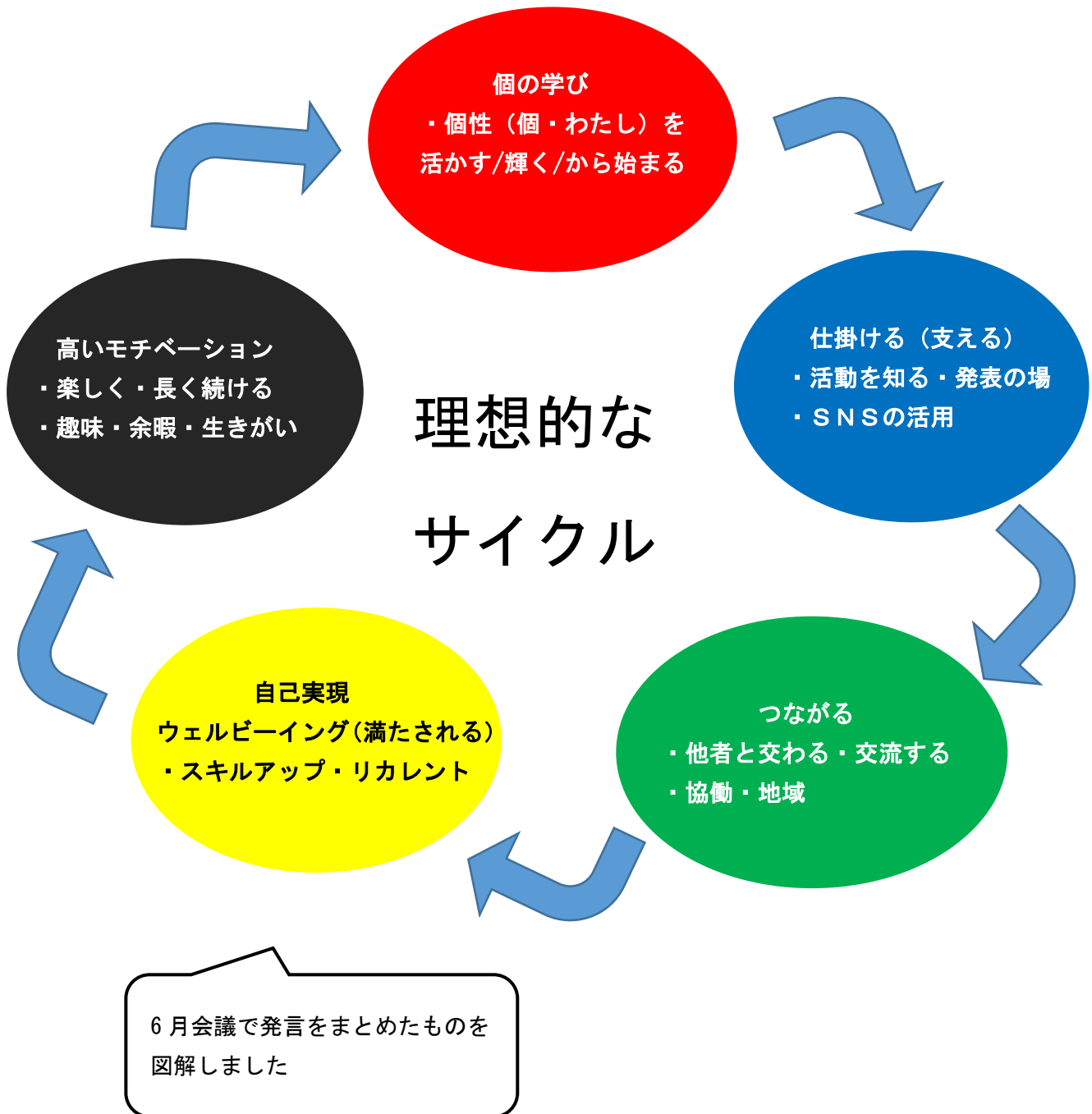


6月会議でのワークショップ結果



図解をもとに生涯学習の柱を作成してみました。

☆個の学び

まず「わたし」が学ぶことから学びの世界が始まる
身近なもの、手軽なもの、続けやすいもの、場所や時間を選ばないものから
仕事や家事育児など忙しい人も敷居の高くないところから始めていく
「個性輝く生涯学習」(橋爪委員)「わたしから始まる生涯学習」(倉掛委員)

「いつでも始められる生涯学習・社会教育」

☆仕掛ける

行政が、地域が、社会教育団体が動く
ひとりひとりが学んだことを、他の誰かへ、他の団体へ、新しいところへと繋げていく
もっと学びたい人へ、更に深く学べる場所の情報提供
学んだことの発表の場を提供
「みんなにつながる生涯学習」(倉掛委員)

「工夫豊かな生涯学習・社会教育」

発言の意図と違う、などあるか確認ください。

☆つながる

「わたし」が「新しいつながり」を得る
同じ志を持つ人や団体、または異なる考えに出会い、新しい学びを得ると同時に
自分の学びを外へと発信していく

「つながり深まる生涯学習・社会教育」

☆自己実現(ウェルビーイング)

「わたし」の学びが「つながり」、楽しいと感じ自信へと変わり、満たされる
学びにより趣味でも仕事でもスキルアップしていく
いつもどこでも、学びなおしていく

「個性をみがく生涯学習・社会教育」

☆高いモチベーション

学びで得た自信が、新たな学びへのモチベーションとなり、
次の「個の学び」へとつながる

「やる気が高まる生涯学習・社会教育」

生涯学習に必要な視点へのヒント

6月のディスカッションから、
視点となりそうなものを抜き出
しました。

☆個の学び→**自発性**（興味をもつ、学びたいと思う）

「わたし」がやりたいことを考える

「わたし」が実際に学ぶ

☆**仕掛け**る→頼れる場所をつくる（行政や地域、社会教育団体に仲介される）

「わたし」がより深く学べるような情報の提供

「わたし」と共に学ぶ人や団体のマッチング

☆つながる→**協働**（様々な人と一緒に行う、協力する）

「みんな」が活動できる場所の提供

「みんな」が新たな「たくさんの人」と**出会える場**の提供

☆**自己実現**→実践・実感（ひとつのゴール）

学んだことで実生活が**充実**した

大会や発表会が上手くいった

会報を作成し、多くの人に見てもらえた

活動により上達を実感できた

☆高い**モチベーション**→次の学びへの準備

新しい学びへの**意欲**（今回の学びと関係あるもの・全く異なるもの）

生きがいとして活動をずっと続けていくため、どう存続していくか考える

活動の新しい切り口を考える

最終的な古賀市の生涯学習の視点（サイクル）

